



学校教育目標
 「学びあい切磋琢磨する
 心豊かな西中生の育成」
第 6 号
 令和8年3月16日 発行

生徒会★発足★

1月9日、生徒会引継式において生徒会役員のバトンが正式に2年生に引き継がれました。全校生徒のみなさんも、自分の意見を気軽にどんどん出していき、風通しの良い西中をつくっていきましょう。最後に、これまで尽力してくれた旧生徒会のみなさん、どうもありがとうございました。

会 長	藤原
副会長	田中
副会長	藤井
議 長	中川
風紀委員長	稲垣
学習委員長	片岡
美化・福祉委員長	高瀬
給食委員長	中道
広報委員長	大山
保健委員長	来住
体育委員長	笹倉

から地震や津波について学びました。今、西脇市にいる自分達が将来都市部に出ていく可能性を考慮し、けっして他人事ではないことを再確認することが出来ました。その後、校長先生の話の聞きました。震災当日、教師として震災現場を走り回り、生徒たちの安否確認をしたという校長先生の話に、震災を経験していない生徒のみなさんは、しっかりと耳を傾けて聞いていました。



第41回 西脇市こども造形作品展

1月24～25日、西脇市民交流施設オリーナスホールで「第41回 西脇市こども造形作品展」が開催され、西脇市内の小・中学校と併せて、西脇市在住で北はりま支援学校に通う児童生徒の作品も展示されました。連日たくさんの来場者が訪れ、個性あふれる作品の数々に、じっくりと見入る姿が見受けられました。



避難訓練・追悼集会

阪神淡路大震災より31年、1月16日には、避難訓練・追悼集会が開かれました。実際を想定し、けが人が出ているという想定で避難訓練を行いました。体育館に移動し、藤本貴士先生

6年生体験入学



今年はインフルエンザの影響により、2月5・6日の2日に分けて西脇小学校と日野小学校6

年生全員を招き、体験入学を実施しました。2年生の生徒会役員が中心となって、体育館で学校紹介、校舎見学、部活動見学を行いました。堂々と仕事をこなす中学生と元気いっぱいの6年生、短い時間でしたがお互いを知ると同時に、距離を縮める良い機会となりました。



2年生の大阪班別学習

2月13日、2年生の大阪班別学習が行われました。この日に向けて、各班でしっかりと計画を練って頑張ることが出来ました。切符がスムーズに買えなかったり、乗り換えに失敗したり、思った通りにいかないことも多くありましたが、3年生の修学旅行の東京班別行動につながる大事な学びになりました。この学びがきっと修学旅行のより充実した時間を過ごせることにつながるでしょう。



本番!! 3年生受験シーズン到来

3年生は、1月10日に私立入試、2月16日に公立高校推薦入試、3月12日には一般入試が行われました。3年生になり、受験生として今まで頑張ってきたことを当日に発揮できたことと思います。ここからは、みなさん一人一人がそれぞれの道を歩いていくこととなります。思うよう

にいたりいかなかったり。でもこれまでの人生にも、そんなことはたくさんあって、みなさんはそれを乗り越えてきたはずです。



今、3年生全員の「中学校からその先の進路」が決定しようとしています。入試は最終のゴールではなく、一つの通過点でしかありません。これからの努力と進み方次第でどのようにでも自らを変えていくことができます。どんな時でも、誰よりもまず自分自身が自分の応援者であってください。そして、周りにも応援している人が必ずいることを、忘れないでくださいね。

3年生を送る会

3月13日、3年生を送る会が行われました。生徒会役員を中心に、3年生に感謝の気持ちを込めて、素晴らしい会をつくり上げてくれました。懐かしい思い出のスライド、大盛り上がりのアンケート結果発表。繰り広げられる企画に、3年生は目をキラキラさせて見入っていました。1・2年生全員による制作では、3年生の門出を華やかにお祝いしたいということで、くす玉をプレゼントしました。また、1・2年生からは「ひまわりの約束」を、3年生からは「旅立ちの日に」「3月9日」の2曲をそれぞれ贈りました。

卒業前にまたもう一つ、素敵な思い出ができたと思います。生徒会のみなさん、どうもありがとうございました。



各種表彰 <女子ソフトテニス部> 第25回兵庫県中学校のじぎくカップ

第5位 池田垣・亀尾ペア
第5位 岡崎・藤井ペア

次年度の年間計画は、3月中にすぐ一配信。主だった予定は、学校HPに掲載しています。

令和7年度 西脇中学校評価 保護者アンケートより

学校評価は、保護者・生徒・教職員の三者にアンケートをとり、その結果を総合的に分析し今年度の教育活動の成果と課題を明らかにし、次年度の取り組みにつなげていくものです。今回は主に保護者アンケートの結果をまとめています。

1. 全体像 全設問合算：肯定 70.1%、否定 19.6%、わからない 10.3%

2. 項目別ハイライト（要点）

【肯定率 上位】強み

- 学校・学年・学級通信を読んでいる。または学校HPを見ている。 …… 90.7%
- 子どもは友だちの個性や特性を理解しようとする姿勢が育っている。 …… 85.8%
- 学校は、参観日・懇談・家庭訪問など保護者との連携に努めている。 …… 84.8%
- 子どもは、身だしなみをきちんとしている。 …… 84.2%
- SNSの利用のあり方について家庭で話し合っている。 …… 84.2%

【肯定率 下位】課題

- 子どもは、学校や家庭でよく本を読んでいる。 …… 16.8%
- 子どもは、毎日の家庭学習が習慣になっている。 …… 38.8%
- 先生は、わかる授業になるよう工夫している。 …… 52.7%
- 子どもは、学校の学習をよく理解している。 …… 56.3%
- 学校は、いじめのない学校づくりに努めている。 …… 57.7%



3. 自由記述の主な声（要旨）

・「授業に集中して参加できないことがあり、学校で学習するという姿勢がきちんとできなかったように思います。」 「学力が大変心配です。」 ※同様の意見が複数あります。

・「学校生活の中で子どもが前向きな気持ちで行動した際、その意図とは異なる受け取られ方をし、否定的な表現で注意されたと聞きました。場面に応じた振る舞いを学ぶのは大切ですが、まずは子どもの『やろうとした気持ち』を受けとめてほしいです。」

→教職員の言葉遣いや振る舞いは、これまで以上に気をつけていくよう努めてまいります。

4. いただいた声を受けての今後の取り組み

- ・読書活動の推進（朝読書の徹底、B Tルームの活用、読解力につなげる取組等）
- ・家庭学習の習慣化に向けたサポート（小学校とも連携し、タブレットでの課題も利用）
- ・いじめやSNSトラブル防止に向けた教育の強化（西中安全の日を中心にした取組等）